

県内研修報告 ・ 沖縄愛楽園交流会館・沖縄通信所見学

第二民生委員・児童委員協議会

第二民生委員児童委員協議会では、委員相互、人格の識見の向上、知識の習得、各委員の福祉の増進を図る目的で、平成二十七年六月三日（水）～四日（木）に県内研修を行いました。

一日目は沖縄愛楽園交流会館での講話及び映写・資料館見学、二日目は沖縄宇宙通信所を見学しました。

沖縄愛楽園交流会館は六月一日に開館し、西原町第二民児協が初の来館団体でした。愛楽園自治会副会長である米蔵豊正氏の講話から、愛楽園発祥の地である屋我地大堂原（うふどうばる）に施設開所となった経緯などを聞くことができました。講話の後、入所者の証言映像を視聴しました。当時の居住者が堪え忍ぶ姿や回復して笑顔で退所していく姿が目には焼きついています。



自治会副会長の講話



沖縄愛楽園交流会館にて

資料館には、集落を追われ、人里離れた場所に隠れて生活をしていた小屋の模型がありました。その隣には、飲み水もない無人島から水のある屋我地へ脱出するために使用された手造りの帆船がありました。つづいて資料展示室には、白い野球ユニフォームがかかげられていました。このユニフォームは、当時の入所者が唯一の楽しみであった野球の試合を観戦するために手づくりし使用したそうです。また、不自由な手でも削りやすいように自分たちで工夫・改良して使用したという大工道具のカンナも展示されていました。

ハンセン病による誤った認識・差別・強制隔離政策の歴史、間違った人権問題から解放され、二〇〇一年には国家賠償請求訴訟が勝訴判決を果たしました。勝訴するまでには住民が口に出せない苦勞の日々を送

っていたことを知り、生きることの重さを次世代に伝えていく役割の深さを感じました。来年度から使用される国語の教科書に取り上げられることになりました。

二日目に見学をした沖縄宇宙通信所は、緑が茂った静かな森の中にあり、巨大なアンテナとドームが設置されていました。通信所の主な業務は、打ち上げられた人工衛星からの電波を受信し、正しく機能しているかどうかの追跡調査です。初めて知る宇宙衛星の様子に目を見張りました。

両日の研修会では、多くの事を習得することができたと同時に、民生委員・児童委員間の親睦も深めることができ、新たな気持ちで今後の民生委員活動に努めていきたいと思えます。



NASA沖縄宇宙通信所にて